

2023年12月8日
プレスリリース No.018-23

静岡文化芸術大学 多文化・多言語教育研究センター主催
フォーラム「多文化共生社会に向けて劇場は誰と何ができるのか — 静岡編」

静岡文化芸術大学多文化・多言語教育研究センターでは、多文化共生社会に向けた「劇場」の役割について考えるフォーラムを開催します。

■アートから多文化共生を考える

これまで、国内に在住する外国人に対する支援は「衣食住」が主でした。しかし近年、国内外において「アート」が外国人住民等の社会参画の一助として注目されるようになってきました。外国籍の方々も、一市民として新しい文化・社会的価値観を創造しています。それに伴い、多くの劇場等で多文化共生に関わる事業を展開しつつあります。言葉を超え、ともに感性で結び付きあう。そこでは「外国人」という眼差しは必要なのでしょうか。

本フォーラムでは、新しい価値観を創造することを特徴とするアート側から、「多文化共生」の定義自体を問い直し、劇場は多文化共生社会の構築に何ができるのかについて、対話を開いていきます。

【日時】 2023年12月19日(火) 14:40～16:10 (14:10 受付開始)

【会場】 静岡文化芸術大学 文化・芸術研究センター

【入場料】 無料(本学 Web サイトより要申込)

【プログラム】 総合司会 : 関 鎮京(北海道教育大学准教授)

1. パフォーマンス 出演:GREEN KIDS

静岡県磐田市、東新町団地で2013年に結成。ブラジル、ペルーなど外国にルーツを持つ若者らで結成するラップグループ。多数の雑誌やテレビにも報道され、幅広く活動。2023年1月にはFlight-Aが映画『ファミリア』に出演。

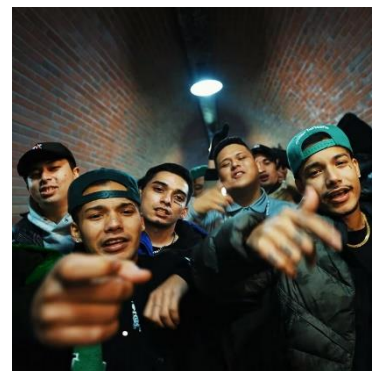
2. ラウンドテーブル:アートを通した多文化共生の取り組み

モデレーター : 南田明美(静岡文化芸術大学講師)

パネリスト : 澤柳美千子(浜松市鳴江アートセンター)、丹治 陽、仲村悠希(SPAC - 静岡県舞台芸術センター) 他

3. ミニ・ダンス・ワークショップ

講師 : 太田垣 悠(SPAC - 静岡県舞台芸術センター)



GREEN KIDS

※本フォーラムは、JSPS 科研費 23HT00588 及び科研費 22K13019 の助成を受けて、研究の一環として開催するものです。

<本リリースに関する問い合わせ>

静岡文化芸術大学 教務・学生室 学生支援係

Tel. 053-457-6121(平日 8:30～18:00) / Fax. 053-457-6123

Email. gakusei@suac.ac.jp

公式 Web サイト



多文化共生社会に向けて 劇場は誰と何ができるのか？ - 静岡編 -

入場料無料

2023 **12.19** **火**

14:40 ▶ 16:10 [会場受付
14:10~]

📍 静岡文化芸術大学 文化・芸術研究センター

プログラム

総合司会 **関 鎮京** (北海道教育大学 准教授)

1. パフォーマンス

出演者 **GREEN KIDS**

2. ラウンドテーブル：アートを通じた多文化共生の取り組み

モデレーター **南田 明美** (静岡文化芸術大学講師)

パネリスト **林 健次郎** (愛知県芸術劇場)

中尾 栄治 (可児市文化創造センター a1a)

半田 将仁 (可児市文化創造センター a1a)

澤柳 美千子 (浜松市鴨江アートセンター)

丹治 陽 (SPAC - 静岡県舞台芸術センター)

仲村 悠希 (SPAC - 静岡県舞台芸術センター)

3. ミニ・ダンス・ワークショップ

講師 **太田 垣 悠** (SPAC - 静岡県舞台芸術センター)

※動きやすい服装でお越しください

概要

これまでの外国人「支援」は、衣食住が主でした。しかし、近年、国内外において、アートが外国人住民等の方々の社会参画の一助として、注目されるようになりました。外国籍の方々も、一市民として新しい文化・社会的価値観を創造しています。それに伴い、多くの劇場が多文化共生に関わる事業を展開しつつあります。言葉を超え、ともに感性で結び付きあう。そこでは「外国人」という眼差しは必要なのでしょうか。

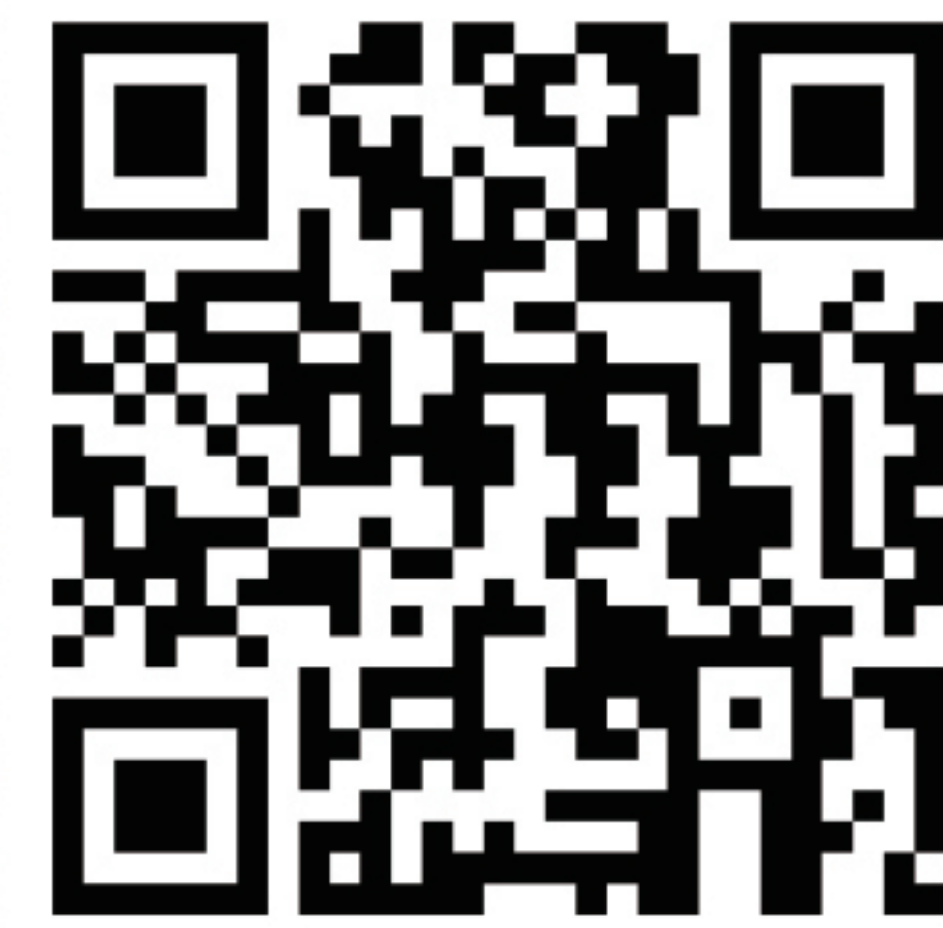
本フォーラムでは、新しい価値観を創造することを特徴とするアート側から、「多文化共生」の定義自体を問い直し、劇場は多文化共生社会の構築に何ができるのかについて対話を開いていきます。

お申込み方法

申込みフォームよりお申込みください。申込みフォームからの予約が難しい場合は、お電話ください。
静岡文化芸術大学教務・学生室 TEL 053-457-6121 (平日 8:00~18:00) 申込締切：12月12日(火)まで

お問い合わせ

静岡文化芸術大学 多文化・多言語教育研究センター (教務・学生室) TEL:053-457-6121 gakusei@suac.ac.jp



参加申込フォーム

<https://forms.office.com/r/7UurqcePWH>

多文化共生社会に向けて 劇場は誰と何ができるのか？ - 静岡編 -

2023 **12.19** 火

14:40 ▶ 16:10 [会場受付
14:10~]

静岡文化芸術大学 文化・芸術センター

1. パフォーマンス



GREEN KIDS

静岡県磐田市、東新町団地で2013年にGREEN KIDSは結成された。
ペルー国籍のACHAに続き、ブラジル国籍の双子でもあるFlight-A & Swag-A 同じくブラジル国籍のBARCOに唯一の日本人Crazy-Kがいる。
貧困や差別、家庭関係、色々な経験を歌にし、多くのメディア、雑誌、テレビ、ヘッズにも注目を浴びている。
団地を拠点にHIP HOPと出会い人生は変わっていきそこから全国を駆け巡りLIVEしながら夢を追っている。

2. パネリスト



林 健次郎

愛知県芸術劇場

「やさしい日本語落語」公演の実施をきっかけに、圏域の公立ホール職員を対象に「伝わりやすい日本語」の事前研修を4回実施。圏域の外国人住民の暮らしを知るとともに、対等にコミュニケーションする方法を学んだ。



澤柳 美千子

浜松市鶴江アートセンター

2019年から現在まで小規模事業ながらも多文化共生とアートの実験に取り組み続けている。浜松国際交流協会、JICA 浜松デスク、静岡芸術劇場 SPAC 等と協力。事業のほか、外国語を母語とする利用者の鶴江アートセンター貸室活用事例として写真教室や誕生日会の開催等がある。



半田 将仁 / 中尾 栄治

可見市文化創造センター ala

2008年から可見市文化創造センター ala (アール) にて実施されているプロジェクト。外国にルーツのある市民と日本人の住民が同じ時間を共有し、参加者の実体験に基づいた「ドキュメンタリー演劇」の舞台を作り上げる。



丹治 陽

SPAC-静岡県舞台芸術センター

仲村 悠希

SPAC-静岡県舞台芸術センター

公演時に多言語での字幕表示を行い日本語学校の生徒を招待している。また、公演時やさしい日本語でのアナウンスの導入や、多言語リーディングカフェ、静岡県内でのダンスワークショップの実施などにも取り組んでいる。

3. ミニ・ダンス・ワークショップ ※動きやすい服装でお越しください



太田 垣 悠

15歳で単身渡仏。リヨン国立高等コンセルヴァトワールを卒業後、リヨンオペラ座バレエ団やスイスのグラン・テアトル・ドゥ・ジュネーヴに在籍。その後フリーとしてラシッド・ウランタンなどの作品で踊るかたわら、フランスのダンス教師国家資格を生かし講師 / ファシリテーターとしても活動。2017年に帰国後、SPAC-ENFANTSプロジェクトにて振付アシスタント・通訳のほか、SPAC アウトリーチプログラムの講師もつとめる。
フェルデンクライス・メソッド国際認定プラクティショナー

アクセス

[徒歩] JR浜松駅から徒歩15分

[バス] 浜松駅バスターミナル
10番のりば遠鉄バス
「文化芸術大学」下車

※駐車場がありませんので、
車での来場はご遠慮ください。

JR浜松駅～大学



学内

